

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

第9期（2020年度）事業計画

2020年度のソーシャルコーディネートかながわ（以下、ソコカナ）の活動は、基本方針として掲げた

[1] 多様な主体による対話と協働の場づくりと、これに伴う各種の支援活動、

[2] 市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進

を柱に事業活動を進めます。

ただし、新型コロナウイルス感染症への予防および拡大防止のため、以下の各種事業活動は休止・縮小・予定変更などを行うことがあります。

1. NPO 支援

県民活動サポートセンター「ボランティア活動相談窓口」における相談対応、ソコカナの自主事業としての相談・コンサルティング・研修などを通して、市民活動団体の活動基盤強化、協働力向上に貢献します。

●アドバイザー相談業務（県委託事業）

- ・県民活動サポートセンターにて、ボランティア活動に関する相談対応を行う

●支援センター人材育成（「アドバイザー相談業務」の一環）

- ・支援センタースタッフ研修会の開催、相談窓口業務へのインターン受入れ等を通じて、県内の市民活動支援センター関係者の相談対応力の向上に貢献する

●相談・研修等の積極的展開（自主事業）

- ・ホームページ等で広報し、NPO や自治体からの相談・研修の対応機会を増やす

2. 企業・大学等への支援・協働支援

地域社会貢献活動に関心を寄せる企業や大学向けの相談対応・研修などを行い、地域課題の解決に向けた企業・大学関係者の理解・関心・行動を引きだします。

また、NPO との連携・協働や、地域社会貢献に関心のある企業・大学等を、地域で活動する NPO 等とつなぎます。

●企業・大学の社会貢献相談（自主事業、「アドバイザー相談業務」の一環）

- ・ホームページ等で広報し、企業・事業者、大学関係者等からの相談・研修の対応機会を増やす

3. 市民参加・地域人材育成

かながわコミュニティカレッジ運營業務などを通して、地域で活動する市民・団体の学びを支え、活動する人々の交流や活動への参加を推進します。

● **かながわコミュニティカレッジ事務局運営**（県委託事業）

- ・カレッジ講座を通して、NPO や地域活動への市民参加の推進・啓発を進める

4. 災害時に機能する被災者支援のための民間ネットワークづくり

（「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(準備会議)」の立上げと活動推進）

ソコカナは、認定 NPO 法人市民セクターよこはまと、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークと三者で協力して「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(準備会議)」(通称：みんなな準備会議)を 2020 年 4 月に立上げました。

みんなな準備会議は、神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内の団体等の連携・協働を進めるネットワーク団体の設立を活動の目的としています。

被災後の支援活動の連携の輪がスムーズに繋がるよう、多様な専門性を持つ NPO など市民活動団体、職能団体、企業などが防災・災害復興をキーワードにつながる「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ」(通称：みんなな)の設立を、2020 年度末を目標に進めます。

本活動推進のため、神奈川県共同募金会から受けた助成金を活用します。